

## 大洲市で演説会 畠山衆院議員の訴えに熱い共感

畠山和也衆院議員を迎えて南予地区が開いた大洲市の演説会は、会場ほぼ満杯の170人からたびたび拍手がわく盛り上がりでした。畠山議員は出身地の東北大震災と熊本地震のことから語りはじめ、野党が共同で被災者への救援で政府に要求していること、川内原発とともに無責任な伊方原発の再稼働を止め原発ゼロへと訴えました。

参院選のテーマ、野党の共同の力について、北海道で「ダブルスコア」と言われていたところから肉薄した経験を報告し、なかでも共産党の活躍が地元の経済紙などから評価されていると報告。無党派層の7割が野党統一候補に投票したことなど、自民党は「ホッとした」が「ゾッとした」と紹介。野党統一の陣営は、結果が出た瞬間は残念だったが、すぐ笑顔が広がり地元では共闘の威力に自信を強めたと述べました。パナマ文書、TPPの黒塗り資料なども示しながらアベノミクスの失政を批判、税金の集め方、使い方、働き方の3つのチェンジなど政策もていねいに話しました。

春名なおあき、小路貴之比例候補が、選挙区のながえ孝子さんの必勝と比例での共産党の躍進を熱く訴えました。

演説会には、ながえ孝子選挙区候補予定者などからのメッセージも披露されました。

「時宜を得た演説会でとても良かったと思います。この度の野党共闘、とくに共産党の英断に拍手を送ります。日本の将来を決める大切な選挙です。選挙区はながえ孝子さんを是非当選させ、比例区では共産党が躍進しますよう、私も応援致します。共に頑張りましょう。」など感想文が多数寄せられました。



## 議会 産業建設委員会の行政視察を行いました

市議会議員 梅木かつこ

5月17日から19日まで、2泊3日で福島県を視察しました。

1日目は、郡山市のシティプロモーション事業を調査しました。市の認知度をどのようにして高め、効果的なPRをするのか、ということでPR媒体を利用して、市内外に情報発信をしている報告がありました。本市の取り組みも負けていないと思いました。

2日目は福島第一原発でした。Jヴィレッジに集合して、概要説明と本人確認が免許証で行われました。40分かけて、福島第一原発に向かいました。途中の双葉町、大熊町には人影もなく、地震で壊れたままの家々が立ち並び、スーパーのガラスなど割れたままで、まさに廃墟でした。田んぼは、草でもなく今や木が大きくなっています。コンビニやガソリンスタンドを開設してもらっているということで2つありました。写真撮影が禁止され、画面で報告できないのが残念です。大洲市も30キロ圏域で、伊方で事故が起これば、5年も帰れず、廃墟になるのかと思うと恐ろしくなりました。

構内視察が、別の団体と一緒に行われました。バスでの視察でしたが、建屋周辺は、コンクリで固められ、無機質な風景でした。多くの人々と構内ですれ違いましたが、のべ6000人から7000人が作業しているといえます。手探りで廃炉作業だといわれました。

放射能で汚染されている現場にいるのに、いつの間にか、何もなかったかのように、その場にいる自分に気づきました。苦しくなるわけでもないので、自覚していないと、被曝すると思いました。

3日目は、福島市のあらかわクリーンセンター視察でした。全連続燃焼式ストーカ炉で平成20年8月完成。110トン×2で24時間焼却です。近隣の福祉施設に温水供給、バイオマス発電で、小中学校約70校に電力供給しているといえます。最終処分されるゴミは、スクラブで道路などにまいていたが、今は、放射能汚染もあり保管しているということでした。OBO方式で建設運営しています。

福島は広いと感じました。詳しく報告できませんが、視察報告とします。